

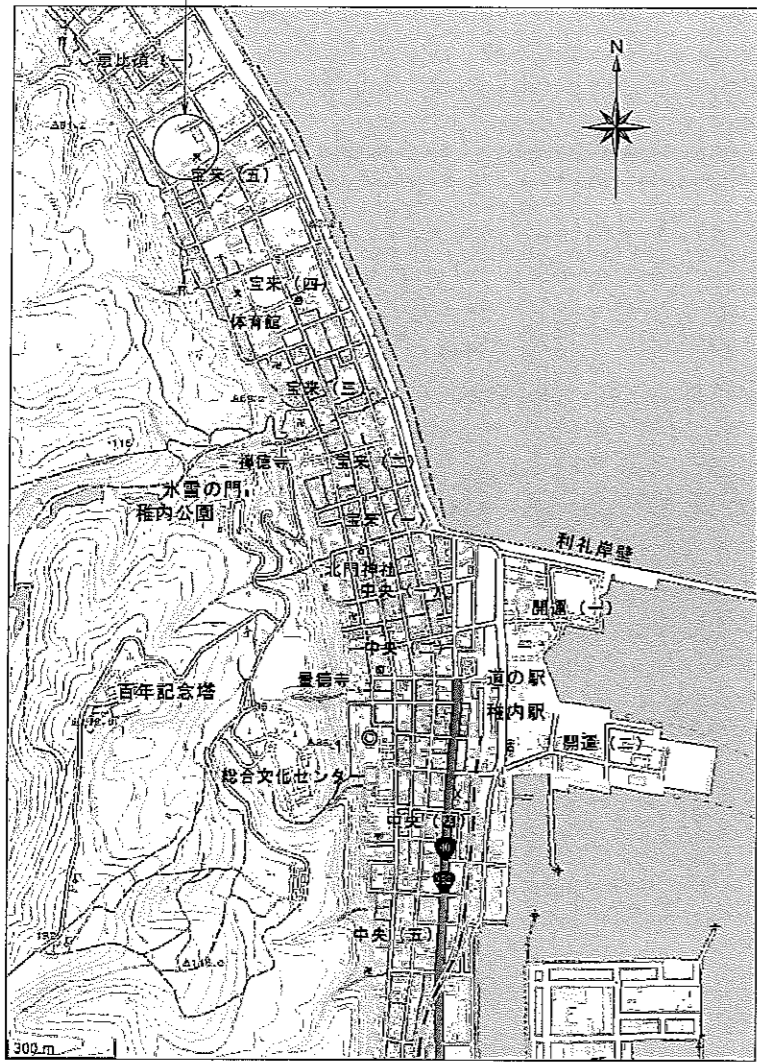
1-1 一般事項

建物の名称		稚内中学校 ④屋内体育館棟					
建築場所		稚内市宝来5丁目7番31号					
用途		(竣工時) 中学校、屋内体育館 (現状) 中学校、屋内体育館					
設計者等	既存建物	設計者	株式会社 久米建築事務所				
		監理者	不明				
		施工者	不明				
	改修建物	診断者	受注者	株式会社 北洋設備設計事務所	再委託 構造担当	-	
		建築(意匠)設計	(*改修計画の場合に記載)				
		構造設計	(*改修計画の場合に記載)				
建物規模	敷地面積	12,160.00 m ²		建築面積	1,040.00 m ²		
	延べ面積	1,088.00 m ²		基準階面積	1,040.00 m ²		
	軒高	6.35 m		最高の高さ	10.50 m		
	基準階階高	3.40 m		地階階高	- m		
建物履歴	設計年	昭和48(1973)年		竣工年	昭和49(1974)年		
	増築・改築	有・ <input checked="" type="radio"/>	(履歴の内容)				
	補修・模様替	有・ <input checked="" type="radio"/>					
	用途変更	有・ <input checked="" type="radio"/>					
	火災	有・ <input checked="" type="radio"/>					
	震災	有・ <input checked="" type="radio"/>					
構造概要	構造種別	鉄骨造一部RC造 (RS-1bタイプ)		構造形式	梁間：ダイヤモンドトラス 桁行：ブレース構造		
	階数	地上 1階 ・ 一部 2層 ・ 塔屋 階					
	基礎形式	独立基礎		地業	直接	杭(種別)	
	地盤	1種 ・ <input checked="" type="radio"/> 種 ・ 3種		支持層	不明	杭径 杭長	
	敷地概況	平坦		地耐力	不明	杭支持力	
設計図書	既存図面等	意匠図	： 一般図 <input checked="" type="radio"/> ・ 無 詳細図 <input checked="" type="radio"/> ・ 無				
		構造図	： <input checked="" type="radio"/> ・ 無		構造計算書	： 有 ・ <input checked="" type="radio"/>	
		地質調査資料	： 有 ・ <input checked="" type="radio"/> (近隣資料 <input checked="" type="radio"/> ・ 無)				
	添付図書	写真(抜粋)・意匠図・構造図・地質調査資料					
仕上概要 (下地共)	屋根	長尺カラー鉄板瓦棒葺 0.4mm					
	外壁	コンクリート打放し EPリシン吹付					
	天井	石膏ボード t=9 EP(ステージ部分)					
	内壁	ラワンベニヤ t=4 下貼、楯ベニヤ t=6					
	床	ナラフローリング t=18					
その他	垂直積雪量	(設計時) 100 cm		(現状) 130 cm			
	EXP. J (1カ所)						

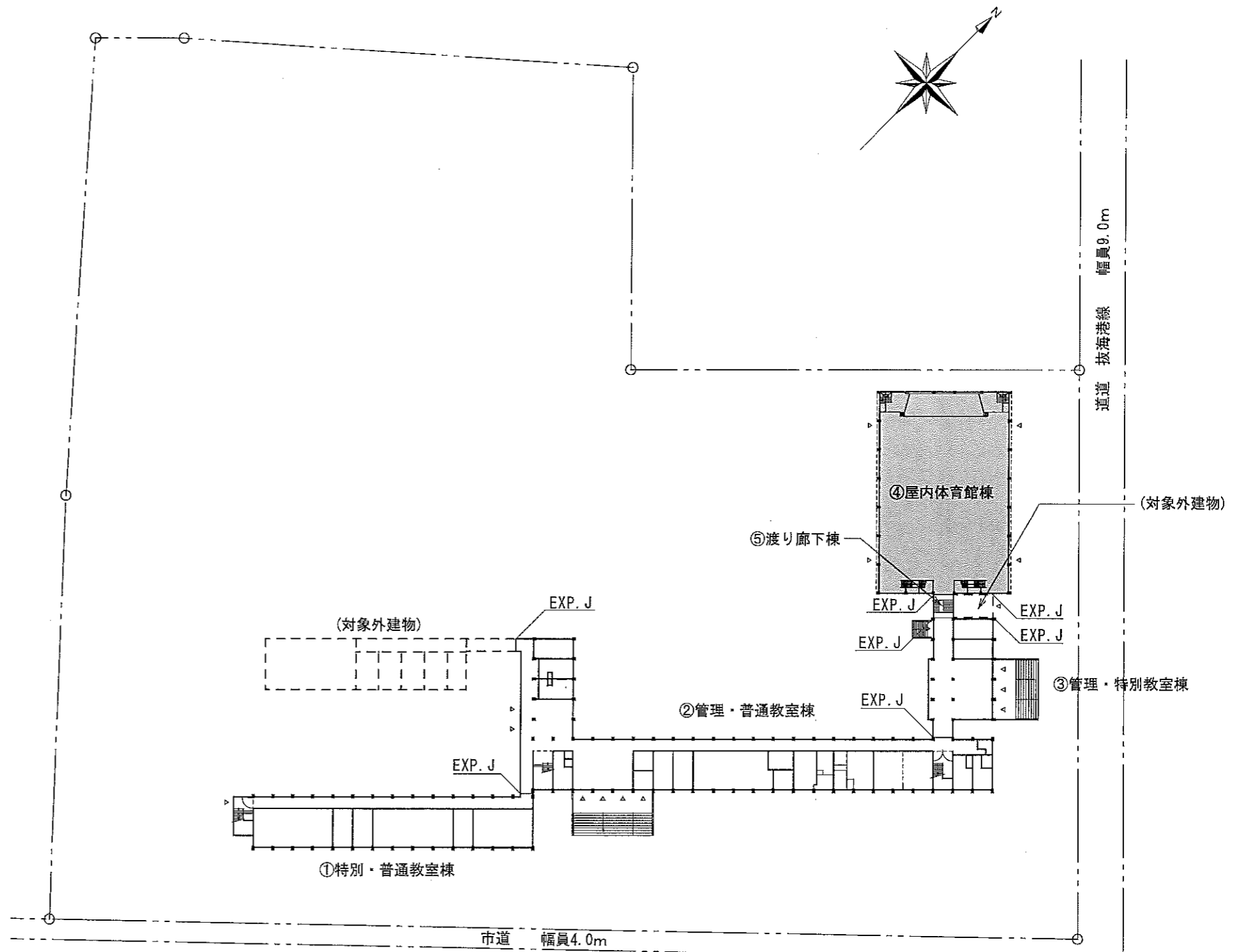
1-2 診断結果表

建物名称 (棟名)		稚内中学校 ④屋内体育館棟							
層重量 (kN)									
単位重量 (kN/m ²)									
柱・壁量 (cm ² /m ²)	X 方向								
	Y 方向								
耐震診断結果 (正・負加力で不利な数値を記入)									
判定指標値				RC 造、SRC 造		$I_{so}=0.56$	$C_{Tu} \cdot S_D \geq 0.24$		
				S 造		$I_s \geq 0.7$	$q \geq 1.0$		
方向	階	F	E ₀	S _D	T	I _s	C _{TU} ・S _D	判定	
				F _{es}			q		
X 方向 (桁行)									
	上層(S)	2.2	0.06	1.5		0.05	0.09	3	NG
	下層(RC) A通	1.00	0.78	0.95	0.93	0.69	0.74		OK
Y 方向 (梁間)									
	1F(S) 中間	2.2	0.20	1.0		0.25	0.46	3	NG
	上層(S) 妻	2.2	1.31	1.5		1.08	1.97	1	OK
	下層(RC) ①通	1.00	2.02	0.95	0.93	1.79	1.92		OK
	下層(RC) ③通	1.00	2.42	0.95		2.15	2.30		OK
結果 (特性)	X 方向	S 造部分で、文科省基準に基づき判定 3 に該当し、地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高いと判定された。 RC 造部分は、I _s 、C _{TU} ・S _D 共に判定値を上回り、所要の耐震性を有している。							
	Y 方向	S 造部分中間で、文科省基準に基づき判定 3 に該当し、地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高いと判定された。 S 造部分妻は、文科省基準に基づき判定 1 に該当し、地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。 RC 造部分は、I _s 、C _{TU} ・S _D 共に判定値を上回り、所要の耐震性を有している。							
屋根		屋根面の桁方向荷重を桁まで伝達する耐力は不足している。							

所在地：北海道稚内市宝来5丁目7番31号



付近見取図



配置図 S=1:1000

■ 診断対象建物